

## 1

## 一般動詞の過去形(1)

◆指導ページ P.8～11◆

## 【主な学習内容】

- ◎一般動詞の過去形(規則動詞)の作り方と基本文
- ◎一般動詞の過去形(規則動詞)の否定文・疑問文と応答

学習内容	補足・留意事項など												
<p><b>1 一般動詞の過去形(規則動詞)</b></p> <p>☆一般動詞の過去形→〈動詞の原形+ed〉 「～した」と過去を表すときは、動詞の過去形を使う。 💡動詞の過去形は、主語が何であっても同じ形を使う。</p> <p>〈現在〉 I play tennis. (私はテニスをします。) ↓過去形にする 〈過去〉 I <b>played</b> tennis yesterday. (私はきのうテニスをしました。) 過去を表す語</p> <p>💡ed のつけ方</p> <table border="0"> <tr> <td>① ふつう</td> <td>〈原形+ed〉</td> <td>look → looked</td> </tr> <tr> <td>② 語尾が e</td> <td>〈原形+d〉</td> <td>like → liked</td> </tr> <tr> <td>③ 語尾が〈子音字+y〉</td> <td>〈y を i にして ed〉</td> <td>try → tried</td> </tr> <tr> <td>④ 語尾が〈短母音+子音字〉</td> <td>〈子音字を重ねて ed〉</td> <td>stop → stopped</td> </tr> </table> <p><b>2 一般動詞の過去の否定文</b></p> <p>☆過去の否定文→〈did not [didn't] + 動詞の原形〉 動詞の前に did not [didn't] を入れ、動詞を原形に戻す。💡did not の短縮形は didn't</p> <p>〈肯定文〉 She <u>played</u> tennis. (彼女はテニスをしました。) ↓原形に戻す 〈否定文〉 She <b>didn't</b> play tennis. (彼女はテニスをしませんでした。)</p> <p><b>3 一般動詞の過去の疑問文</b></p> <p>☆過去の疑問文→〈Did+主語+動詞の原形 ~?〉</p> <p>(1) 過去の疑問文は did を主語の前におき、動詞は原形に戻す。</p> <p>〈肯定文〉 You <u>cooked</u> dinner. (あなたは夕食を料理しました。) ↓原形に戻す 〈疑問文〉 <b>Did</b> you <u>cook</u> dinner? (あなたは夕食を料理しましたか。) 〈答え方〉 Yes, I <b>did</b>. (はい, しました。) No, I <b>did not</b> [didn't]. (いいえ, しませんでした。)</p> <p>(2) 疑問詞を含む過去の疑問文→〈疑問詞+did+主語+動詞の原形 ~?〉</p> <p><b>What did</b> you study last night? (あなたは昨夜何を勉強しましたか。) — I studied English. (私は英語を勉強しました。)</p> <p>💡疑問詞が主語の場合の過去の疑問文→〈疑問詞+動詞の過去形 ~?〉</p> <p>〈肯定文〉 <u>You</u> cooked dinner. ↓ 「だれが～しましたか」と下線部をたずねる。 〈疑問文〉 <b>Who</b> <u>cooked</u> dinner? (だれが夕食を料理しましたか。) ↑ 動詞の過去形 疑問詞は文頭におく 〈答え方〉 I did. (私です。) 💡主語 did. で答える。</p>	① ふつう	〈原形+ed〉	look → looked	② 語尾が e	〈原形+d〉	like → liked	③ 語尾が〈子音字+y〉	〈y を i にして ed〉	try → tried	④ 語尾が〈短母音+子音字〉	〈子音字を重ねて ed〉	stop → stopped	<p>●規則動詞</p> <p>-(e)d をつけて過去形を作る動詞。それ以外の動詞を不規則動詞という。</p> <p>●主語と動詞の形</p> <p>現在の文では、主語が3人称単数の場合は動詞に -(e)s をつけたが、過去の文では主語によって動詞の形はかわらない。</p> <p>●ed の発音</p> <p>① 無声音のあと… [t ト] 例 liked [laikt]</p> <p>② 有声音のあと… [d ド] 例 played [pleid]</p> <p>③ [d], [t] で終わる語のあと… [ɪd イド] 例 visited [vɪzɪtɪd]</p> <p>●過去を表す語</p> <p>yesterday 「きのう」 last night 「昨夜」 last week 「先週」 ～ ago 「～前」 then 「そのとき」</p> <p>●主語と did not</p> <p>現在の文では、do not, does not を主語によって使い分けるが、過去の文では常に did not [didn't] でよい。</p>
① ふつう	〈原形+ed〉	look → looked											
② 語尾が e	〈原形+d〉	like → liked											
③ 語尾が〈子音字+y〉	〈y を i にして ed〉	try → tried											
④ 語尾が〈短母音+子音字〉	〈子音字を重ねて ed〉	stop → stopped											

## 2

## 一般動詞の過去形(2)

◆指導ページ P.12 ~ 15◆

## 【主な学習内容】

◎不規則動詞の過去形

◎不規則動詞の過去の基本文・否定文・疑問文と応答

学習内容	補足・留意事項など
<p><b>① 一般動詞の過去形(不規則動詞)</b></p> <p>☆不規則動詞の過去形には ed はつけない。</p> <p>〈現在〉 I go to school every day. (私は毎日学校へ行きます。)</p> <p>〈過去〉 I <b>went</b> to school yesterday. (私はきのう学校へ行きました。)</p> <p>She <b>went</b> to school yesterday. (彼女はきのう学校へ行きました。)</p> <p>💡不規則動詞の場合も、主語が何であっても同じ形を使う。</p> <p><b>不規則動詞の過去形</b></p> <p>① 母音に変化 get(得る)→ <b>got</b>, come(来る)→ <b>came</b>, swim(泳ぐ)→ <b>swam</b>, know(知る)→ <b>knew</b></p> <p>② 形に変化 speak(話す)→ <b>spoke</b>, sell(売る)→ <b>sold</b>, say(言う)→ <b>said</b>, buy(買う)→ <b>bought</b></p> <p>③ 同形 put(おく)→ <b>put</b>, cut(切る)→ <b>cut</b>, read(読む)→ <b>read</b> 💡過去形は[red]と発音する。</p> <p><b>② 不規則動詞の過去の否定文</b></p> <p>☆過去の否定文→〈did not [didn't] + 動詞の原形〉</p> <p>規則動詞の場合と同じで、動詞の前に did not [didn't] を入れ、動詞を原形に戻す。</p> <p>〈肯定文〉 Jane <u>got</u> up early today. (ジェーンはきょう早く起きました。)</p> <p>↓ 原形に戻す</p> <p>〈否定文〉 Jane <b>didn't get</b> up early today. (ジェーンはきょう早く起きませんでした。)</p> <p><b>③ 不規則動詞の過去の疑問文</b></p> <p>☆過去の疑問文→〈Did + 主語 + 動詞の原形 ~?〉</p> <p>(1) 規則動詞の場合と同じで、did を主語の前に出し、動詞は原形に戻す。</p> <p>〈肯定文〉 You <u>saw</u> the movie last night. (あなたは昨夜映画を見ました。)</p> <p>↓ 原形に戻す</p> <p>〈疑問文〉 <b>Did</b> you <u>see</u> the movie last night? (あなたは昨夜映画を見ましたか。)</p> <p>〈答え方〉 Yes, I <b>did</b>. (はい、見ました。)</p> <p>No, I <b>did not [didn't]</b>. (いいえ、見ませんでした。)</p> <p>(2) 疑問詞を含む疑問文→〈疑問詞 + did + 主語 + 動詞の原形 ~?〉</p> <p><b>When did</b> you <u>see</u> the movie? (あなたはいつその映画を見ましたか。)</p> <p>↑ ↑ 疑問詞は文頭におく 動詞の原形</p> <p>— I saw it last night. (私は昨夜見ました。)</p> <p>💡疑問詞が主語の疑問文→〈疑問詞 + 動詞の過去形 ~?〉</p> <p><b>Who saw</b> the movie? (だれがその映画を見ましたか。)</p> <p>↑ ↑ 文頭におく 動詞の過去形</p> <p>— Tom <b>did</b>. (トムです。)</p>	<p>●<b>不規則動詞</b></p> <p>不規則に変化して過去形を作る動詞を不規則動詞という。</p> <p>●不規則動詞の過去の否定文、疑問文をつくるルールは規則動詞のものと同じ。</p> <p>●文頭に疑問詞がくる文の文末は下げ調子で読む。</p>

## 3

## be 動詞の過去形・過去進行形

◆指導ページ P.16～19◆

## 【主な学習内容】

◎be 動詞の過去形の基本文・否定文・疑問文

◎過去進行形の基本文・否定文・疑問文

学習内容	補足・留意事項など														
<p>① be 動詞の過去形</p> <p>☆ be 動詞の過去形「～でした」は was, were を使う。 was は am・is の過去形, were は are の過去形。 〈現在〉 I am busy now. (私は今忙しい。) ↓ 過去形にする 〈過去〉 I <b>was</b> busy last week. (私は先週忙しかった。) 過去を表す語</p>	<p>• be 動詞の過去形</p> <table border="1" data-bbox="1371 480 1709 699"> <thead> <tr> <th>数</th> <th>単数</th> <th>複数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 人称</td> <td>was</td> <td rowspan="2">were</td> </tr> <tr> <td>2 人称</td> <td>were</td> </tr> <tr> <td>3 人称</td> <td>was</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数	単数	複数	人称			1 人称	was	were	2 人称	were	3 人称	was	
数	単数	複数													
人称															
1 人称	was	were													
2 人称	were														
3 人称	was														
<p>② be 動詞の過去の否定文・疑問文</p> <p>☆ be 動詞の過去の否定文→〈was [were] not〉 was [were] のあとに not を入れる。 They were in the park. (彼らは公園にいました。) They <b>were not</b> [weren't] in the park. (彼らは公園にいませんでした。)</p> <p>☆ be 動詞の過去の疑問文→〈Was [Were] + 主語 ~?〉 was [were] を主語の前におく。 答え方は, Yes, ~ was [were]. / No, ~ was [were] not. 〈肯定文〉 You were at home. (あなたは家にいました。) 〈疑問文〉 <b>Were</b> you at home? (あなたは家にいましたか。) 〈答え方〉 Yes, I <b>was</b>. (はい, いました。) No, I <b>was not</b> [wasn't]. (いいえ, いませんでした。)</p>	<p>• 短縮形 was not = wasn't were not = weren't ☛ I was や You were などの短縮形はない。</p> <p>• 疑問詞を含む疑問文 Where were you last night? (あなたは昨夜どこにいましたか。) — I was in the room. (部屋にいました。)</p>														
<p>③ 過去進行形の文</p> <p>☆過去進行形「～していました」→〈was [were] + ~ing〉 「～していました」と過去に進行中であった動作を表す。 Tom <b>was playing</b> tennis then. (トムはそのときテニスをしていました。) ☛ was・were は主語によって使い分ける。</p> <p>☆過去進行形の否定文→〈was [were] not + ~ing〉 We <b>were not</b> [weren't] <b>sleeping</b> in the room. (私たちは部屋で眠っていませんでした。)</p> <p>☆過去進行形の疑問文→〈Was [Were] + 主語 + ~ing?〉 <b>Was</b> Tom <b>playing</b> tennis then? (トムはそのときテニスをしていましたか。) — Yes, he <b>was</b>. (はい, していました。) — No, he <b>was not</b> [wasn't]. (いいえ, していませんでした。)</p> <p>☛過去進行形の否定文・疑問文の作り方は, be 動詞の時制以外, 現在進行形の場合と同じに考えればよい。</p>	<p>• 現在進行形と過去進行形 現在進行形「～している」は 〈am [are・is] + ~ing〉 現在進行形「～していた」は be 動詞の時制をかえて, 〈was [were] + ~ing〉 で表す。 He <u>is</u> running. 〈現在進行形〉 (彼は走っています。) He <u>was</u> running. 〈過去進行形〉 (彼は走っていました。)</p>														

## 4

## 未 来

◆指導ページ P.20～23◆

## 【主な学習内容】

◎未来を表す will の基本文および否定文・疑問文

◎be going to ～による未来の表し方

学習内容	補足・留意事項など
<p><b>① 未来を表す will の文</b></p> <p>☆「～するだろう」、「～するつもりだ」→〈will+動詞の原形〉</p> <p>(1) will は未来を表す助動詞である。動詞の原形の前におく。 will は主語が何であっても形は変わらない。 〈現在〉 He <u>plays</u> tennis. ↓ 原形にする。 〈未来〉 He <b>will play</b> tennis. (彼はテニスをするでしょう。)</p> <p>(2) 未来の否定文→〈will not[won't]+動詞の原形〉 「～しないだろう」、「～しないつもりだ」(未来の否定形)は、will のあとに not を入れる。 〈肯定文〉 He will <u>play</u> tennis. ↓ will のあとに not をおく。 〈否定文〉 He <b>will not[won't] play</b> tennis. (彼はテニスをしないでしょう。) 💡will not の短縮形は won't。</p> <p>(3) 未来の疑問文→〈Will+主語+動詞の原形 ~?〉 will を主語の前におく。 Yes, ~ will. / No, ~ will not[won't]. で答える。 〈肯定文〉 He will play tennis. ↓ will を主語の前におく。 〈疑問文〉 <b>Will</b> he play tennis? (彼はテニスをするつもりですか。) 〈答え方〉 Yes, he <b>will</b>. (はい, そのつもりです。) No, he <b>will not[won't]</b>. (いいえ, そのつもりではありません。) 💡疑問詞を含む未来の疑問文→〈疑問詞+未来の疑問文 ~?〉 When will you play tennis? (あなたはいつテニスをするつもりですか。) 💡Will you ~? には「～していただけますか」(依頼)の意味もある。 Will you help me? (私を手伝っていただけますか。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• will の短縮形 I will = I'll You will = You'll He will = He'll We will = We'll They will = They'll will not = won't</li> <li>• Will[Would, Could] you ~? と Shall I[we] ~? ① Will[Would, Could] you ~? (～していただけますか。) Will you open the door? (ドアを開けていただけますか。) — Sure. / OK. / All right. — I'm sorry, I can't.</li> <li>② Shall I ~? (～しましょうか。) Shall I carry it? (それをお持ちしましょうか。) — Thank you. / Yes, please. — No, thank you.</li> <li>③ Shall we ~? (～しませんか。) Shall we dance? = Let's dance. (踊りましょう。) — Yes, let's. — No, let's not.</li> </ul>
<p><b>② be going to ～の文</b></p> <p>☆〈be going to+動詞の原形〉も未来のことを表す。</p> <p>(1) will のかわりに用いて、未来を表すことができる。 I <b>am going to play</b> tennis. (私はテニスをするつもりです。) He <b>is going to play</b> tennis. (彼はテニスをするつもりです。) 💡be は主語によって使い分ける。</p> <p>(2) 否定文→〈am[are・is]+not going to ~〉 I <b>am not[I'm not] going to play</b> tennis. (私はテニスをするつもりはありません。)</p> <p>(3) 疑問文→〈Am[Are・Is]+主語+going to ~?〉 <b>Are you going to play</b> tennis? (あなたはテニスをするつもりですか。) — Yes, I <b>am</b>. (はい, するつもりです。) — No, I <b>am[I'm] not</b>. (いいえ, そのつもりはありません。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 未来を表す語句 tomorrow 「あした」 next week 「来週」 next month 「来月」 next year 「来年」 next Sunday 「今度の日曜日」 in the future 「将来」</li> </ul>

5

名詞・冠詞・代名詞

◆指導ページ P.24 ~ 27 ◆

【主な学習内容】

- ◎名詞の種類と複数形, 冠詞 the の用法
- ◎代名詞の種類と用法

学習内容	補足・留意事項など																								
<p><b>1 名詞</b></p> <p>☆名詞には数えられる名詞と数えられない名詞がある。</p> <p>(1) 数えられる名詞</p> <p>① 普通名詞…形のある同じ種類のものを表す名詞。単数形と複数形がある。  <b>例</b> desk 「机」, dog 「イヌ」, house 「家」, apple 「りんご」, car 「車」</p> <p>② 集合名詞…同種類の人やものの集合体を表す名詞。  ひとまとまりで考えるとき→単数形  それぞれを指すとき→複数形  <b>例</b> people 「人々」, family 「家族」, crowd 「群れ」, police 「警察」</p> <p>(2) 数えられない名詞</p> <p>① 固有名詞…人名や地名などを表す名詞  <b>例</b> Jane 「ジェーン(人名)」, Japan 「日本」, Lake Biwa 「琵琶湖」</p> <p>② 物質名詞…物質や材料などを表す名詞。  <b>例</b> water 「水」, snow 「雪」, milk 「牛乳」, sound 「音」, meat 「肉」</p> <p>③ 抽象名詞…性質や状態, 観念などを表す名詞。  <b>例</b> fun 「楽しみ」, peace 「平和」, music 「音楽」, art 「芸術」</p> <p>(3) 物質名詞の量の表し方  容器や単位を表す語を用いる。 <b>例</b> a glass of water 「1杯の水」</p> <p>🔑名詞の複数形の作り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふつう sをつける。 boy → boys</li> <li>・s, x, ch, sh で終わる語 esをつける。 bus → buses</li> <li>・子音字+y で終わる語 yをiにかえてesをつける。 library → libraries</li> <li>・その他 不規則変化するもの, 形の変化しないものがある。  child → children, fish → fish</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•数えられない名詞 →複数形にはならない。</li> <li>•物質名詞の量の表し方 a cup of ~ 「カップ1杯の～」 tea, coffee など a glass of ~ 「コップ1杯の～」 water, milk など a piece of ~ 「1枚の～」 paper, bread など a sheet of ~ 「1枚の～」 paper など</li> </ul>																								
<p><b>2 冠詞：the の用法</b></p> <p>(1) 何を指すかわかっているものにつく。「その」 <b>例</b> I know the dog.</p> <p>(2) 世の中に1つしかないものにつく。 <b>例</b> the earth</p> <p>(3) 順序を表す語(序数)・決まった表現 <b>例</b> the second, play the piano</p>																									
<p><b>3 代名詞</b></p> <p>(1) 人称代名詞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>主格</th> <th>所有格</th> <th>目的格</th> <th>所有代名詞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人称(複数)</td> <td>I(we)</td> <td>my(our)</td> <td>me(us)</td> <td>mine(ours)</td> </tr> <tr> <td>2人称(複数)</td> <td>you(you)</td> <td>your(your)</td> <td>you(you)</td> <td>yours(yours)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3人称(複数)</td> <td>he</td> <td>his</td> <td>him</td> <td>his</td> </tr> <tr> <td>she (they) it</td> <td>her (their) its</td> <td>her (them) it</td> <td>hers (theirs) —</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 再帰代名詞…「～自身」 ①単数…myself, yourself, himself, herself  ②複数…ourselves, yourselves, themselves</p> <p>(3) 代名詞 one…前に出てきた名詞と同じ種類のものを表すときに用いる。  This car is my father's and that <b>one</b> is my mother's.  (この車は私の父のもので, あの車は私の母のものです。)</p> <p>(4) all, both, each など  all 「全員, すべて」 (複数の人やものを指す場合は複数, 事がらを指す場合は単数)  both 「両方」 (複数)  each 「それぞれ」 (単数)</p>		主格	所有格	目的格	所有代名詞	1人称(複数)	I(we)	my(our)	me(us)	mine(ours)	2人称(複数)	you(you)	your(your)	you(you)	yours(yours)	3人称(複数)	he	his	him	his	she (they) it	her (their) its	her (them) it	hers (theirs) —	<ul style="list-style-type: none"> <li>•その他の代名詞</li> <li>① -thing で終わる不定代名詞 「何か」の意味を表す。 something →肯定文で使う。 anything →否定文, 疑問文で使う。</li> <li>②指示代名詞 this(これ), these(これら), that(あれ), those(あれら)</li> <li>•itには時間・天候・距離などを表す特別用法がある。 It is sunny today. (きょうは晴れです。)</li> </ul>
	主格	所有格	目的格	所有代名詞																					
1人称(複数)	I(we)	my(our)	me(us)	mine(ours)																					
2人称(複数)	you(you)	your(your)	you(you)	yours(yours)																					
3人称(複数)	he	his	him	his																					
	she (they) it	her (their) its	her (them) it	hers (theirs) —																					

6

疑問詞を使った文

◆指導ページ P.28 ~ 31 ◆

【主な学習内容】

◎重要な疑問詞の表現

◎Why の文に対して、Because で応答する。

学習内容	補足・留意事項など
<p>① いろいろな疑問詞</p> <p>☆疑問詞…What, Who, When, Where, How</p> <p>(1) What 「何」「何を」「何の」「何が」など、たくさんの使い方がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補語をたずねる <b>What</b> is that? (あれは何ですか。) — It's an orange. (オレンジです。)</li> <li>目的語をたずねる <b>What</b> are you reading? (何を読んでいるのですか。) — I'm reading a comic book. (マンガを読んでいます。)</li> <li>主語をたずねる <b>What</b> is in your bag? (かばんに何がありますか。) — There are three books in my bag. (3冊の本があります。) 💡疑問詞 what が主語の場合、〈疑問詞 + 動詞 ~?〉の語順になる。 What は3人称単数扱い。 💡There is[are] ~. 「~がある」</li> </ul> <p>(2) Who 「だれ」「だれが」の使い方がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補語をたずねる <b>Who</b> is that man? (あの男の人はだれですか。) — He is my uncle. (私のおじです。)</li> <li>主語をたずねる <b>Who</b> broke the door? (だれが戸をこわしたのですか。) — Taro did. (太郎です。) 💡疑問詞 who が主語の場合、〈疑問詞 + 動詞 ~?〉の語順になる。</li> </ul> <p>(3) その他の疑問詞の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>When 「いつ」(時) <b>When</b> do you start? (あなたたちはいつ出発しますか。) — We start tomorrow. (私たちはあす出発します。) 💡「いつ」とたずねているので、tomorrow を強く読む。</li> <li>Where 「どこ」(場所) <b>Where</b> did you go last Sunday? (あなたはこの前の日曜日どこへ行ったのですか。) — I went to Nara. (私は奈良へ行きました。) 💡「どこ」とたずねているので、Nara を強く読む。</li> <li>How 「どのようにして」(方法) <b>How</b> do you go to school? (あなたはどうやって学校へ行きますか。) — I go to school by bus. (私はバスで学校へ行きます。) 💡「どのようにして」とたずねているので、bus を強く読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問詞は疑問文の文頭におく。</li> <li>疑問詞が主語の文 時制は動詞が担っている。 Who uses the pencil? (だれがその鉛筆を使うのですか。) Who used the pencil? (だれがその鉛筆を使ったのですか。)</li> <li>What + 名詞 ~? What sport do you like? (何のスポーツが好きですか。)</li> <li>What time ~? What time is it? (何時ですか。)</li> <li>What day ~? What day is it today? (きょうは何曜日ですか。)</li> <li>Which + 名詞 ~? Which cap is yours? (どの帽子があなたのものですか。)</li> <li>Whose + 名詞 ~? Whose book is this? (これはだれの本ですか。)</li> <li>How many + 名詞の複数形 ~? How many books do you have? (何冊の本を持っていますか。)</li> <li>How old ~? How old are you? (何歳ですか。)</li> <li>How を用いた数量の問い How tall ~? (高さ・身長) How long ~? (長さ・期間) How often ~? (頻度・回数) How far ~? (距離)</li> </ul>
<p>② Why と Because</p> <p>☆Why 「なぜ」には、Because 「なぜなら」で答える。</p> <p><b>Why</b> did you stay home last Sunday? (この前の日曜日あなたはどのようにして家にいたのですか。)</p> <p>— <b>Because</b> it rained a lot. (なぜなら、雨がたくさん降ったからです。)</p>	

## 7

## 助動詞

◆指導ページ P.32 ~ 35 ◆

## 【主な学習内容】

◎助動詞の基本文および否定文・疑問文

◎助動詞の同意語、助動詞の時制

学習内容	補足・留意事項など
<p><b>1 助動詞の意味と使い方</b></p> <p>☆〈助動詞+動詞の原形〉の形で使われる。</p> <p>can 「～できる」「～してもよい」  may 「～してもよい」「～かもしれない」  must 「～しなければならない」「～にちがいない」  should 「～すべきである」</p> <p>💡主語によって助動詞の語形が変わることはない。</p> <p>I <b>can</b> swim well. (私はじょうずに泳ぐことができます。)  She <b>can</b> swim well. (彼女はじょうずに泳ぐことができます。)</p> <p><b>2 助動詞の否定文・疑問文</b></p> <p>☆否定文→〈助動詞+not+動詞の原形〉</p> <p>I <b>can not</b>[<b>can't</b>] swim well. (私はじょうずに泳ぐことができません。)  You <b>must not</b>[<b>mustn't</b>] swim here. (あなたたちはここで泳いではいけません。)</p> <p>☆疑問文→〈助動詞+主語+動詞の原形 ～?〉</p> <p><b>Can</b> you swim well? (あなたはじょうずに泳ぐことができますか。)  — Yes, I <b>can</b>. (はい、できます。)  — No, I <b>cannot</b>[<b>can't</b>]. (いいえ、できません。)</p> <p>💡助動詞の許可と義務の表現</p> <p>(1) <b>May</b> I use this computer? (このコンピュータを使ってもいいですか。)  — <b>Sure</b>. (もちろんです。)  — Yes, you <b>may</b>. (どうぞ。)  — No, you <b>may</b>[<b>must</b>] <b>not</b>. (いいえ、いけません。)</p> <p>(2) <b>Must</b> I go shopping now? (今、買い物に行かなければいけませんか。)  — Yes, you <b>must</b>. (はい、しなければなりません。)  — No, you <b>don't have to</b>. (いいえ、その必要はありません。)</p> <p>💡No, you must not. とはならないことに注意する。No, you must not. は「いいえ、してはいけません」の意味。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞のあとの動詞は必ず原形 can・may・must・should など助動詞のあとの動詞は原形を用いる。助動詞も主語によって変化しない。 × He can plays ~. × He cans play ~. ○ He can play ~.</li> <li>短縮形 cannot = can't must not = mustn't should not = shouldn't</li> <li>must と have to の否定形 must not ~ 「～してはいけない」 don't have to ~ 「～しなくてもよい」 であり意味が異なる。</li> </ul>
<p><b>3 助動詞の同意語</b></p> <p>☆ <b>be able to = can, have[has] to = must</b></p> <p>(1) 〈be able to + 動作の原形〉「～できる」</p> <p>💡be は主語や時制によって am・are・is・was・were と使い分ける。</p> <p>She <b>is able to</b> play the piano. (彼女はピアノをひくことができます。)</p> <p>(2) 〈have to + 動詞の原形〉「～しなければならない」</p> <p>💡主語が3人称単数のとき、has to ~となる。過去の文では had to ~となる。</p> <p>He <b>has to</b> go shopping. (彼は買い物に行かなければなりません。)</p> <p>💡否定文 don't[doesn't] have to ~は「～しなくてもよい」という意味になるので注意。</p> <p>☆助動詞の時制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～できる」  〈過去〉 could = was[were] able to 「～できた」  〈現在〉 can = be able to 「～できる」  〈未来〉 will be able to 「～できるだろう」      💡 can の未来形はない。</li> <li>・「～しなければならない」  〈過去〉 had to  〈現在〉 must = have[has] to  〈未来〉 will have to      💡 must の過去形・未来形はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞の同意語 助動詞で時制を変えることができない場合は同意語に直し、その動詞を変化させて時制を変える。 can の未来形はない → will be able to must の過去形、未来形はない → had to, will have to 💡will must のように助動詞を並べて使わない。</li> </ul>

## 8A

## 不定詞

【主な学習内容】

◎不定詞の用法(名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法)

◆指導ページ P.36 ~ 39 ◆

学習内容	補足・留意事項など
<p>① 不定詞の名詞的用法</p> <p>☆(to+動詞の原形)→「~することを[は]」の意味を表す名詞と同じ働きをする。</p> <p>① 目的語の働きをする I want <u>to buy a book</u>. (私は本を買いたいです。) 本を買うこと(目的語)</p> <p>② 補語の働きをする My dream is <u>to be a doctor</u>. (私の夢は医者になることです。) 医者になること(補語)</p> <p>③ 主語の働きをする <u>To walk</u> is good to our health. (歩くことは健康によい。) 歩くこと(主語)</p>	<p>●不定詞</p> <p>〈to+動詞の原形〉の形をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞的用法</li> <li>・副詞的用法</li> <li>・形容詞的用法</li> </ul> <p>の3つの用法がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞を目的語にする動詞 like to ~ 「~するのが好き」 want to ~ 「~したい」 start to ~ 「~し始める」 begin to ~ 「~し始める」 try to ~ 「~しようとする」</li> </ul>
<p>② 不定詞の副詞的用法</p> <p>☆(to+動詞の原形)→「~するために」「~して」の意味を表す副詞のような働きをする。</p> <p>① 「~するために」(目的) 動作の目的を表し、動詞を修飾する。 I <u>went</u> to the river <u>to swim</u>. (私は泳ぐために川に行きました。) ↑ 動詞を修飾</p> <p>② 「~して」(原因) 原因・理由を表し、動詞を修飾する。 I'm sorry <u>to hear the news</u>. (私はその知らせを聞いて気の毒に思います。) 「~して」(原因)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Why~?に対する答え方 不定詞を使って答えることができる。 Why did you go to the shop? (あなたはなぜ店に行ったのですか。) — To buy a bag. (かばんを買うためです。) — Because I wanted to buy a bag. (かばんを買いだしたかったからです。)</li> </ul>
<p>③ 不定詞の形容詞的用法</p> <p>☆(to+動詞の原形)→「~するための、~すべき」の意味を表し、前にある名詞や代名詞を修飾する。</p> <p>He wants <u>a book to read</u>. (彼は読むための本がほしい。) ↑ 名詞を修飾</p> <p>I want <u>something to drink</u>. (私は何か飲むものがほしい。) ↑</p> <p>☞前置詞のつく不定詞 「家に住む」は live in a house だから、「住むための家」は a house to live <u>in</u> になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・be glad to ~ I was glad to hear the news. (私はその知らせを聞いてうれしい。)</li> <li>・something+形容詞+to+動詞の原形 something hot to drink 「何か温かい飲みもの」</li> </ul>

## 8B

## There is [are] ～.

◆指導ページ P.40～43◆

## 【主な学習内容】

◎There is[are] ～.の基本文・否定文・疑問文

◎Here is[are] ～.の文

学習内容	補足・留意事項など
<p>① There is[are] ～.の文</p> <p>☆「～がある[いる]」→「～が」が単数のとき There is ～. →「～が」が複数のとき There are ～.</p> <p>〈単数〉 <b>There is</b> a book on the desk. (机の上に本が(1冊)あります。) 単数 場所を表す語句</p> <p>〈複数〉 <b>There are</b> some books on the desk. (机の上に何冊かの本があります。) 複数 場所を表す語句</p> <p>💡 there is[are] ～.の文の there は形式的な語で特に訳さない。 💡 「～があった[いた]」と過去のことを言うときは、There was[were] ～.で表す。 <b>There was</b> a book on the desk. (机の上に本が(1冊)ありました。)</p> <p>🔑 There is[are] ～.の文の名詞 「～が」にあたる名詞になるものは a, some などのついた「不特定なもの」である。 the や my などのついた「特定のもの」に対しては、There is[are] ～.は使わない。</p> <p>○ There is a book on the desk. × There is the book on the desk. ○ The book is on the desk.</p>	<p>• 短縮形 There is = There's There are = There're</p>
<p>② There is[are] ～.の否定文・疑問文</p> <p>(1) 否定文→〈There+be 動詞+not ～.〉 〈肯定文〉 There are some apples in the box. (箱の中にリンゴがあります。) 〈否定文〉 <b>There are not[aren't]</b> any apples in the box. (箱の中にリンゴが(1つも)ありません。)</p> <p>(2) 疑問文→〈be 動詞+there ～?〉 〈肯定文〉 There are some books on the desk. (机の上に本があります。) 〈疑問文〉 <b>Are there</b> any books on the desk? (机の上に本がありますか。) — Yes, <b>there are</b>. (はい, あります。) — No, <b>there are not[aren't]</b>. (いいえ, ありません。)</p> <p>🔑 疑問詞のある疑問文 How many dogs are there in the park? (公園に何びきのイヌがいますか。) — There are two. (2ひきいます。)</p>	<p>• 否定文の any 否定文の any は「1つも(～ない)」の意味になり, no を用いて表すこともできる。 There are not any dogs in the park. = There are no dogs in the park.</p>
<p>③ Here is[are] ～.の文</p> <p>☆「ここに～がある[いる]」→「～が」が単数のとき Here is ～. →「～が」が複数のとき Here are ～.</p> <p>💡「ここに～があった[いた]」と過去のことを言うときは、Here was[were] ～.で表す。 <b>Here were</b> two books. (ここに2冊の本がありました。)</p>	<p>• Here is[are] ～.の文 Here is[are] ～.の文でも here は「ここに」という意味を表す。 There is[are] ～.の文とは異なり、「場所を表す語句」はつけない。</p>

